

「Kyoto Japan」海外戦略プロジェクト支援企業紹介

取材

「Kyoto Japan」海外戦略プロジェクト事業では、海外市場の開拓を目指す京都企業を支援するため、海外での物産展、商談会等の開催および展示会出展、バイヤー招へいによる個別商談会を開催しています。本事業を活用して海外販路の開拓・拡大に取り組む企業を紹介します。

経験を重ね培ってきた海外展開のノウハウを活かし 高品質な京都の畳を広くアピールしていきたい

株式会社もとやま畳店

<https://www.kyo-tatami.com>



代表取締役 本山 浩史氏

100余年の歴史を持つ畳店

当社は1916(大正5)年に創業した畳店です。一般の家庭用から茶室用、神社仏閣で使われる有職畳まで幅広い畳を扱っていますが、今では数少なくなった、京もの指定工芸品に認定されている「京たたみ」を手掛ける一軒です。伝統の技術と知識を受け継ぐ職人の手により、すべての工程を手で縫う「京たたみ」の最大の特徴は、畳床にあります。稲藁を用いる昔ながらの藁床のかまち(縁が付いていない短辺)に板を縫い付けることで補強しており、きちんと手入れをすれば100年以上は持つと言われる一生ものの畳です。

ここ数年は、特に茶室用の畳を数多く手掛けてきました。茶室は、職人技の集合体によって作り上げられており、畳も例外ではありません。茶室によって数ミリ単位で異なる畳寄せ(畳と壁が接する部分にできる隙間を埋める横木)を手縫いで調整して合わせたり、炉縁と畳が一体化するように揃えたりと、一連の工程において隅々まで高い技術と美意識が求められます。当社は茶道の格式や定法に精通し、茶道界のニーズに応えられる畳屋としての自負を持って、長年に亘り京都の格式ある社寺の茶室にも納めてきました。近年では各国の公館などにも納入しています。



藁床を用い職人の手縫いで作られる京たたみ

20年以上前から海外展開に着手

当社の海外展開の歴史は、20年以上前、私がアメリカに渡り、飛び込み営業を行ったことに始まります。旅行代理店に勤めていた頃、現地の日本食レストランなどに畳があることを知り、ニーズがあると感じたことがきっかけでした。

2002(平成14)年からは、京都産業21の支援を受けて海外展開を本格化。ロザンゼルスで開催された「Japan Expo」に出展させていただいたほか、京都産業21の会員交流事業の一環で、私自身もその立ち上げに関わった異業種交流グループ「Kyooohoo」では、メンバー企業の経営者たちと海外での新たな販路開拓について議論しました。さらに海外販路開拓事業としてアメリカ・イタリアの展示会に出展。「Kyoto Japan」海外戦略プロジェクトとしては上海での催しに計3回参加し、現地百貨店などでディスプレイや製作実演、販売、製作ワークショップ

プなどを行いました。海外展開を模索していた数社の個人的な集まりだったものを、京都産業21が「Kyooohoo」という形にし、海外事業の確立を継続的に後押ししてくれたからこそ、今があると感じています。



上海伊勢丹での実演の様子

技術を継承する職人の育成に向けて

本当にいい畳を知っておられる方、本格的な畳を求めておられる方は国内外にいらっしゃいます。その方々に提供し続けていくためにも、職人を育成し、文化として「京たたみ」を継承していくことが、当社の使命だと考えています。

そのためには、広く京都のいい畳をアピールし、需要を喚起することが不可欠。その一環として当社はコロナ禍の2020(令和2)年、自宅にしながらお茶の稽古ができる「茶道用置き畳」の販売を開始しました。IHヒーター用の置炉の高さに合わせた厚みになっているため、置炉が飛び出ることがありません。国内では好評を博しており、2021(令和3)年からは海外展開も始動する予定。これまでの経験を活かし、より多くの方に、京都の畳ならではの品質の高さを体感していただけるよう努めていきたいと思っています。



2020(令和2)年より販売を開始した茶道用置き畳

Company Data

- 代表取締役/本山 浩史
- 所在地/京都市北区紫野門前町45
- 創業/大正5(1916)年
- 事業内容/畳の製造・販売
- 電話/075-491-8608
- 設立/令和元(2019)年